

臨床研究に関する情報公開

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針>に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

<研究課題名> 血小板数による肝細胞癌患者の予後への影響についての検討
<研究機関・研究責任者名> 日本大学医学部附属板橋病院 消化器外科 (研究責任者) 緑川 泰
<研究期間> 本研究計画承認日 ～ 西暦 2023 年 12 月 31 日
<研究の目的と意義> 血小板は術後の肝再生に必要な増殖因子を分泌する一方で、セロトニンなどの分泌により癌細胞の増殖を促進する一面も有する。このように血小板は肝細胞癌術後患者に対して相反する機能を持つが、これまでに血小板数による肝細胞癌患者の予後については一定の見解が得られていない。術前血小板数が予後予測マーカーとして肝細胞癌術後患者にどのように影響するかを検討する。
<利用する試料・情報の項目> 研究対象者基本情報:年齢、性別、術前データ、予後、治療内容など 初回肝切除時の病理所見 肝がん術後の生存期間及び無再発生存期間
<対象となる患者さん> 西暦 2000 年 4 月 1 日～西暦 2018 年 12 月 31 日の期間に当院消化器外科で肝がんの手術を施行された患者さんのうち、初回かつ根治手術を施行し得た方
<研究の方法> 2000 年から 2018 年までの当科で肝細胞がんの手術を施行した 1200 例を対象とする。術前の血小板数を含めた肝機能などの背景因子及び術後の病理所見を調べ、血小板数による生存期間について比較検討する。
<お問い合わせ窓口> 日本大学医学部附属板橋病院(東京都板橋区大谷口上町 30-1) 消化器外科 氏名:緑川 泰 電話:03-3972-8111 内線:(医局)2471 (PHS)8211